

事業所名

多機能型事業所 ぴあ・いろはプラス

支援プログラム（児童発達支援）

作成日 R7 年

12月

1

法人（事業所）理念	全従業員（ご本人、ご家族、職員、事業にかかわるすべての人）の物・心両面、幸福を追求するとともに、事業を通じて社会に貢献する。						
支援方針	障がい児の育児のサポートのため、ご家庭と協働して、発達検査、インフォーマルアセスメントに基づき、本人の特性、物事の理解の特徴、得意や苦手等の個々を的確に把握する。アセスメントをもとに科学的に実証されている手法を用いて、本人の理解の枠組み（学習スタイル）に合わせて理解しやすい環境を作り（構造化）、その中で日常生活や社会生活を送るうえで必要なスキルを学び、適応力を向上させ、自立的な生活を送れるよう支援する。見通しを持って生活し、人への信頼を培い、本人の理解の枠組みを用いて、日常生活、集団生活への適応や学習の土台となる姿勢を作ることを目的とする。						
営業時間	9時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし ※個別対応・要相談
	支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や発達段階、就学先を見据えて、身辺自立課題をアセスメントやニーズに合わせて個別に支援を行う。 事業所内を構造化し、障がい特性に合った活動に安心して取り組める環境調整を行っている。 本人の負荷を考慮した療育時間を個々に設定する。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚特性に配慮した環境調整を行っている。 遊びや制作などを通して、体を動かす活動や手指を使った課題学習、道具を使う練習などを本人のスキルに合わせてスマールステップで個別に行う。 ご本人の好む感覚を用い、リラックスしたり、余暇を充実させたりする。（カームダウンの活用） 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 見通しがもてるように視覚支援を用い、ご本人にとってわかりやすい情報提供を行うとともに、自立的な行動に結び付けるような課題設定を行う。 行動障害の予防及び適切行動への対応支援を行う。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションのアセスメントを実施し、コミュニケーションカードやPECSカードを用い、相手を意識した自発的なコミュニケーションができるよう支援を行う。 活動の各所に選択や自己決定の場面を設定し、意思決定支援を行う。 障がい特性や年齢に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 安心して人と関わる場所づくり、信頼関係づくり。 本人の興味関心のある活動から人と関わったり、学ぶ楽しさを持つ。 個別セッションを通して、適切な言動や社会のルール、就学への見通しなどについて学ぶ機会を設ける。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問、支援会議、就園先訪問などを希望に応じて行う。 個別相談に応じる。 ゆいねっとStudy俱楽部の開催　・母子同室支援も実施 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 移行先や関係機関との連携 移行時の引継ぎ、アセスメント資料の提供 移行のための会議への参加 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 医療との連携 他の福祉サービスとの連携 教育との連携 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> TEACCHプログラム研修・PECS研修・ソーシャルストーリー研修 仕事の基本研修・自閉症についての各種研修・BMC研修など 虐待防止研修、強度行動障害支援者養成研修、CAREプログラムなど 		
主な行事等		季節の製作（書初め・お正月・節分・ひな祭り・子どもの日・七夕・ハロウィン・クリスマスなど）その他（スタンプ、ステンシル、スライム、夏まつりごっこ、買い物ごっこなど）おやつ作り（サンドイッチ、パフェ、クリームソーダ、かき氷、プリンアラモード、フルーチェ、クリスマスケーキなど）					

事業所名

多機能型事業所 ぴあ・いろはプラス

支援プログラム（放課後等ディサービス）

作成日 R7

12月

1